

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。今日は、フクシマ原発事故から12年1か月目を迎えた4月11日（火）の「第124回行動」についての報告と、5月11日（木）に行なう「第125回行動」のご案内をお届けします。
(編集者)

安保・原発・憲法での「大転換」を許さない フクシマ事故から145か月目 54人が第124回「原発ゼロ」調布行動



今回の司会・進行は「調布狛江合唱団」有志のみなさん。司会は小林優さん、いつものようにマイク・機材などの準備を引き受けている鈴木勝雄さんが進行（スピーチの調整）や記録を掛け持ちでがんばりました。

写真はむらき数子さんと鈴木彰が分担しました。
(編集部)

× × ×

市議選の告示日を5日後に控えて、参加が難しい日となりましたが、素晴らしい晴天にめぐまれた調布駅前、今日も「福島を忘れない」の横断幕、調布行動の2本ののぼり、「声を上げよう 東海第二原発はいらない」の横断幕、「原発ゼロ」、「原発のない未来へ」のプラカードなど、思い思いのグッズを掲げ54人が参加しました。



◆ 歌 「花」「人間の歌」 出前演奏班 東北人 小林優さん、鈴木勝雄さん

◆ 佐橋正文さん（西つつじが丘） 4月からドイツは原発ゼロにしました。しかし安全と言われた福島で事故を起こした日本が、なぜ原発を稼働させるのでしょうか。欧州で、原発を温暖化防止のために稼働できるのは、核のゴミの処分場があることが条件です。核のゴミの処分場がない日本の原発稼働は、許されない！ 1/30日、稼働中の関西電力高浜原発4号機が原因不明のトラブルで突然停止しました。安全な原発はありません。岸田首相は軍事費を43兆円も使おうとしている。我々の税金を戦争に使うなんてとんでもない！ 戦争が起これば原発は狙われて原子爆弾に変わってしまう危険なものです。一刻でも早い「原発ゼロ」をめざし、一緒に頑張ってい

ましょう。

◆ 菊池公子さん（深大寺） 4月10日「赤旗」の記事を紹介します。岸田首相は60年を超えた老朽原発を動かすことを認め原発の活用を「国の責任」と明記するなど原発回帰に転換する。「GX（グリーン・トランスフォーメーション）脱炭素電源法案」や原子炉等規制法、原子力基本法など5つの法律の改定案を一本化した「東ね法案」です。「原発の依存度は低減する、新增設は想定しない」という政府自身の従来方針を投げすて、財界や産業界の要求を丸のみし、原発の60年超稼働を認め、新增設の推進を決めました。国会では笠井さんが原発回帰の撤回と「原発ゼロ」を決断するよう求めました。以上です！



◆ 大松由紀子さん（柴崎）、三宅征子さん（柴崎）、大野さん たづくりまつりで、「イノベーションを・コースト構想のまやかし 惨事便乗型の原発事故後始末福島で何が起きているのか」「災害と原発事故で壊滅的な被害を受けた福島県浜通りは・・・」という内容で講演会行ないます。6月9日（金）14：00～16：00、たづくり8階映像シアターです。和田央さん（イノベーション・コースト構想を監視する会、放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会）がお話します。参加費は500円ですが、ぜひ参加してください！

主催：チェルノブイリ法日本版の会・調布 連絡先 三宅 042-482-7834

たづくりまつり映画上映会 原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち

6月10日（土）17：00～19：30 8階映像シアター

主催 調布市公民館・文化会館たづくり利用者会議・たづくりまつり実行委員会 参加費500円 ぜひ！参加を！ チケットを買って下さい！ 子どもの将来を守り行動していきましょう！ 政治の力で原発は止められる！



◆ 小野和子さん（多摩川） 岸田政権は2023年2月28日 不当にも原発東ね法案を閣議決定しました。原子力規制法、電気事業法、原子炉等規制法、再処理法、再生可能エネルギー特別処置法がある。運転期間規制を規制官庁から原子炉等規制利用官庁（経済省所管）の電気事業法に移管しようとしている。原発反対であろうが永続的に政府が電力会社等に支援して原発推進する方向が盛り込まれている。負けてはいられない！

◆ 鈴木ヒデヨさん（国領町） 核のない日本、原発ゼロ目指す思いです。この駅前ひろばは市民のひろばです。市はフリーマーケット等届け出している皆さんも7月以降からは広場の貸し出しはなくなると言っています。いま皆さんがいるところまでバス、タクシー等のロータリーが、1.5倍の大きさまで広げられようとしているんです。私たちは何としても憩いの市民広場を守る

ことで反対しています。7月から工事に入ることになっているが、皆さん、一緒にこの駅前広場を残す行動を続けていきましょう。

◆ 小林 優さん（司会者） 全国的にもこの様な素晴らしい駅前ひろばはないですね！ みんなで守っていきましょう！



◆ 佐藤真理子さん（富士見町） 東京土建のシニアの皆さん、そして土建の皆さんと現地ふくしまへ行く計画を立てています。参加した状況報告を皆さんに報告したいと計画しています。よろしくお願いいたします。

◆ 歌 「ふるさとを汚したのは誰」

◆ 鈴木 彰さん（多摩川） 今、岸田政権によって「安保・原発・憲法」をめぐる政策が「大転換」されようとしています。戦後78年、私たちが守ってきた平和と民主主義が破壊され、築いてきた福祉と暮らし、社会保障の財源が防衛費・軍事費に横流しされようとしています。「安保・原発・憲法」にこだわっている時代は終わったとか、野党共闘は古臭いとか、タモリ氏も言ったように「新しい戦前」にする流れが大手を振ってきて、市民と野党の共闘の足並みが乱されています。今日の行動のように、自由に集まることがだんだんとできなくなる危険も深まっています。そんなことを許して良いのでしょうか。私たちはいまこそ、平和憲法を掲げて守りぬいてきた平和と民主主義を守るために、これまで以上に大きな声を上げて行かなければならないと思います。「悲壮感」などにとらわれず、当たり前のことを当たり前語り合える社会をみんなで守り育てていく。その立場で、この「原発ゼロ」調布行動を、さらに大きく育てて行きましょう。

◆ 歌 「約束の歌」 戦争をしないと世界に約束をした憲法九条があると歌う！

◆ 鈴木とみ子さん（染地） 職場九条の会です。母に「どうして戦争をとめられなかったの？」と聞いたことがありました。母は「周りの人は戦争に負けると思っていて、私も負けると思っていたが、それを言えなかった」と言っていました。今の岸田政権は、国民の意見を聞く耳を持たず、戦争準備にひた走っています。日本が攻撃されたらと言うけれど、「専守防衛」に徹する国を攻めてくる国はありません。怖いのは、米国がアジアで起こす戦争に巻き込まれることです。職場九条の会の10グループは、4月15日（土）新宿駅でアピール集会を開きます、是非、参加を！



◆ 歌 「花」 春のうららの隅田川 のぼり下りの ふなびとが～



第125回「原発ゼロ」調布行動

日時：2023年5月11日(木)

10時半～11時半 於：調布駅前

今回は5月11日。福島原発事故から146か月目、私たちの「調布行動」としては第125回目の行動です。5月と6月の企画・進行・司会は、学習サークル「アネモネ会」のみなさんが引き受けてくれます。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言っ
てやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！と願っています。

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*コロナ・ウイルスへの感染防止の対策をこらして（体調を崩された方は勇気をもって「自宅待機」を）ご参加ください。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、7月以降の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループはどうぞ名乗り出てください。

127～128回（7～8月）

年金者組合

129～130回（9～10月）

新婦人

131～132回（11～12月）

原発のない暮らし@ちょうふ

133～134回（1～2月）

調布合唱団有志